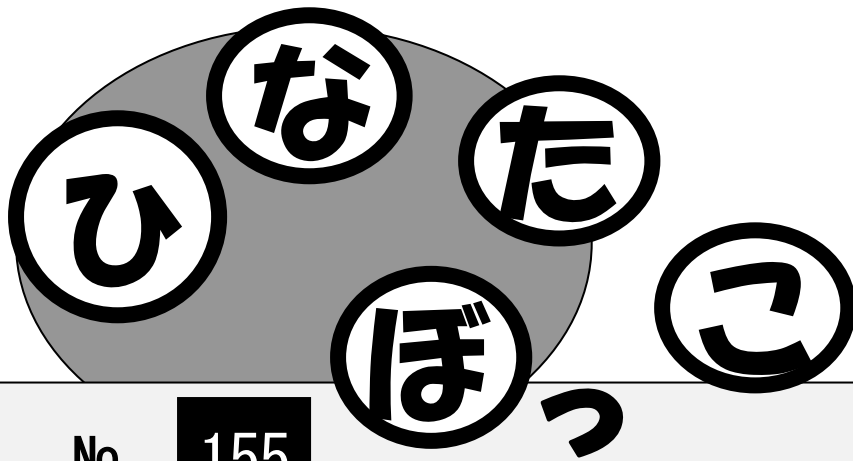




No. 155

機関誌・ひなたぼっこ

2026年3月20日号(第155号)

■発行所 宮城県高齢者生活協同組合
(ささえあい生協宮城)

発行人 長尾 智美



〒981-3203
仙台市泉区高森3-4-131

TEL 022-343-7655

FAX 022-343-7666

E-mail: koreikyo@poppy.ocn.ne.jp

URL: <http://miyagi.koreikyo.jp/>

【東日本大震災15年の月日①】

2011年3月11日、東日本をマグニチュード9.0の大震災が襲いました。そして発生した大津波と原発事故の放射能漏れというこれまで経験したことのない事態をもたらしました。

宮城高齢協は、指定管理の仙台市泉中央老人福祉センターと4つの放課後児童館、高齢者のデイサービスの運営を行っていましたが、それぞれの施設では大きな被害はありませんでした。しかし、津波の被害を受けた組合員さん津波は免れたが家屋に多くの被害を受けた組合員さんが多くおられました。

「日本高齢者生活協同組合連合会からの支援活動が始まる」

2012年に、全国の高齢協から多くの支援があつきました。東北の被災地に928万円の支援金、復興対策会議の立ち上げにより、現状の評価をし、震災から2年後には、仮設住宅で青竹踏み、お手玉ゲームなどの心の癒しを中心とした活動が展開されてい

「震災復興ツアーの開始」

被災地を旅行することへの是非もありましたが、2013年に「震災復興ツアー」を企画し、「訪れること、見ること、感じること、伝えること」をテーマに取り組み、現地の被害の状況を目の当たりにして、今後の支援活動を考える機会となりました。

被災地の現状を知るツアーは2014年も継続され、福岡高齢協では独自にツアーを組織して参加した職員が語り部になるなどの活動を行いました。また、宮城高齢協からの呼びかけで特産品の販売の取り組みが行われました。

「宮城高齢協の語り部報告」

大震災を風化させないとして、復興支援は継続され、2015年に仙台市立荒浜小学校、石巻市立大川小学校を視察、宮城高齢協の「16歳の語り部報告」は、当時小学校5年生の体験を話され多くの参加者が感銘を受けました。今後は各高齢協が独自に活動をすすめる、連合会としては政府や自治体に「真の復興」を求める活動をしていきます。

「女川原発再稼働について考える会」

宮城高齢協は、2023年9月10日に東京電力が福島第一原子力発電所のトリチウムを適切に処理水の海洋放水問題については「同意なしに行わない約束」をなし崩しに、環境汚染、風評被害の具体的対策も明示されないまま行おうとしたこと、同時に女川原発再稼働についても考え、未来に向けた電力発電について考える企画を実施しました。

当日は13名の理事・組合員が参加して、東北電力が燃料費の高騰をあげて値上げを敢行し、原子力発電は燃料費高騰に左右されないとして再稼働を進めている現状を学習しました。参加者の一人、長沼さんは石巻市の津波ハザードマップと防波堤の問題点を指摘して報告しました。



画像はイメージです

【東日本震災15年の目録②】

当時の組長さんと聞く

石巻市渡波町に住まいを持つ米谷明子さんにインタビューしました。

あの日は、自宅で一人、洋裁をしていました。突然揺れが始まったと思ったりテレビが消えました。「いつ

もと違つ」と思い、すぐに買い物で使っていたリュックサックに菓、そこにあった果物、先日買ったばかりの上下のスウェットを着て外に出ました。震災前年に股関節の手術をして杖を使って歩いていたために他の人よりも歩くのが遅いので、何よりも他の人よりも早く逃げることを常に思っていました。近い実家に寄る、父母に声掛けするも「津波は来ない」と言われながらもかく避難所まで向かいました。

まもなく津波はやってきて、自宅の1階は浸水、逃げなかつた人達は2階に避難し孤立したり、家が流された人もいたようです。渡波小学校の体育館に避難しているうちに、旦那さんと再会できました。避難先は事前に約束していたからです。

米谷さんがリュックサックに荷物を入れて、すぐに避難した理由は神

戸の震災の状況を以前から学習していたから。それがあつたからこそ、すぐに行動できたと話しています。

空き家を狙って物取りに来る人や井戸がある家に来て「使えないのか？」と来る人もいました。

自衛隊が来て、陸地では難しいので、海の沖の方に大きな船で入浴や洗濯、飲食の世話をしてくれてありがたかつたことや米国軍隊が校庭に津波で流れて来た山積み車を片付けてくれたこと、神戸をはじめ全国からボランティアが来て、家の中を片付けてくれたことなど、たくさんありがたい話をしてくれました。米谷さんの家は以前リフォームした時に棚を壁に括り付けていたので家財の被害が少なく、震災後はリフォームだけで済んだということでした。そして、米谷さんが最後に語ってくれたのは「地震が来たら逃げるが勝ち」ということでした。



画像はイメージです

【理事長コラム】

またも米トランプ政権による無法が繰り返されています。アメリカによるイランへの先制攻撃です。新年早々のベネズエラへの攻撃、アフスカの領有宣言に続く、国際法無視のイラン攻撃です。こんなことが繰り返されては、世界の平和は保てません。ところが高市首相は国会で「アメリカの軍事行動は明白な国連憲章と国際法違反である。直ちに中止を求めよ」と迫られても、一言の反論もできない。日本は中東諸国とはこれまで友好的関係を持ってきました。そのことが日本の中東諸国からの石油の安定的輸入を保障もしてきたのです。アメリカへの高市政権の節度のない追従ぶりを、日本有数の憲法学者であり、私には師でもある早稲田大学の長谷部恭男教授は、共同通信の全国配信の論説で、「高市首相が『国論を二分する政策』について多くを語らない理由もよくわかる」と指摘し、「(国民が)こんなはずでなかつたと言っても始まらない。すべては有権者の選択の結果で

ある。現実を直視する必要がある」と喝破しています。これからの世界と日本の情勢に国民自身こそが責任をもつて行動しなくてはならないということなのです。

私たちの日々の仕事である高齢者をめぐる問題も同じことです。

政府は、高齢者の生活や人権補償に本来に責任を持つてつとめているのか疑念を感じることが、しばしばです。そんな時、高齢者にとって何が必要か、職員自身が団結して訴えていくことです。それが、世界を、そして政治を動かす根本の力だからです。

アメリカにひたすら追従する高市政権を変え、国際的に誇れる日本の政治姿勢を確立できるかどうか、時間がかかってもらはる国民自身にかかっているからです。

(理事長・伊藤恵仁)



あの人・この人紹介



いつもおだやかな
対応の田中紀子さん

「60歳からハマった六和功」

たなかのりこ

【田中紀子さん】仙台市泉区

「近所の人に連れられて体験した

のが始まりで、もう20年以上にもなりますよ」おだやかな口調で語りだした田中さんは、現在、仙台市泉区中央老人福祉センターで「六和功」を指導しています。「六和功」は、中国の気功体系のひとつで、身体・呼吸・意念（心の働き）を調和させることで健康を高める養生法です。太極拳に近い動きで、ゆったりとした動きが中心なので自分に合っているのがハマりだしたと語ります。今では教える立場となり、仙台市内の老人福祉センターやコミュニティなど6カ所で講師をして、毎日忙しく動

いています。また、独学で始めたという布を使った手作り品も趣味のひとつといながらも教室を開催しています。いろんな場所で展示されていた手芸品を見ているうちに「自分でも出来るかも」と始めたのがきっかけのようです。そんな毎日を忙しく活動している田中さんだから顔色もよく、会ったたびにこやかな笑顔をを見せてくれます。

しかし、昨年の11月に脳梗塞で倒れて40日間入院生活を送ったようです。そこから、すこし活動を控えるよう考えたしているそうです。

横須賀で生まれて、戦争が激しくなり母の実家の古川に来て、結婚して仙台市に住み、子ども2人、孫4人ひ孫5人。「もう80歳を超えましたが、みんな近くにいたので安心。六和功と布手作りは続けられるまで頑張ります」と話しています。理解のある旦那さんが送迎してくれるので、ありがたいです、とも語っていました。

★各事業所の活動報告★

仙台市泉中央老人福祉センター

いずみいきいき会

2026年1月、仙台市泉中央老人福祉センターでボランティア活動をしているメンバーの交流会を開催し30名のメンバーが参加しました。南京玉すだれのオープニングで幕を開けた交流会はマジックのメンバーの演技、民謡愛好会、紙芝居、南米楽器演奏など芸能部メンバーの出し物やビンゴゲームで盛り上がりました。事務局からは活動5年目の節目にお弁当を提供し感謝状を贈呈しました。ボランティア会は年々活動の幅を広げ社会福祉協議会泉区事務所や地域の町内会や地域団体からの要望に応えています。

ボランティア会

では「手芸」「芸能」「環境」各部門

で一緒に活動できる仲間を募集しています。センター事務所までお問い合わせください。

電話0222(3)3(3)12255へ



民謡愛好会の発表の様子

小規模多機能型居宅介護事業所

いの庵（いづみ）

2026年2月19日（木）音楽の集いで「D51男性合唱団」が来所して、民謡や昭和歌謡・NHKドラマの歌など6曲を昼食後のひとときに楽しみました。感激のあまり涙を浮かべている利用者さんも数人おりました。



D51合唱団は1960年に国鉄長町機関区に誕生し、JRで働く仲間OBや魅了された仲間たちがあつまり、今年で65年の合唱団です。

いの庵（いづみ）スタッフ募集中

正規介護職員

介護資格がない方は働きながら資格取得を援助します。勤務時間などお気軽にご相談ください。

*未経験者でも大歓迎

*要普通自動車免許証

軽自動車も運転します。

*男女・年齢は問いません

*時間は1日8時間（夜間勤務有）
問合せ先 長尾・伊藤・藤田まで

電話0222(7)9(6)270

朝の時から夜7時まで

第28回通常総代会 総代選挙公告

宮城県高齢者生活協同組合

総代選挙管理委員会委員長 半澤 晃

定款第44条、第45条及び「総代選挙規約」にもとづき、総代選挙を左記の通り実施します。

総代に立候補される方は所定の用紙（本部事務局および各事業所に備えています）に記入の上、選挙管理委員会に提出してください。

記

- ① 選挙権および被選挙権 2026年3月31日 現在の組合員
- ② 選挙区および定数 総代定数：100名 選挙区：全県1区
- ③ 日程

1、立候補受付：2026年3月20日（金）9時30分から4月3日（金）16時まで

2、選挙日：2026年4月4日（土）

総代選挙規約第8条より、立候補者数が定数以内の場合は、無投票当選となります。

- ④ 立候補手続き

本部事務局および各事業所（いろり庵こぶし・泉中央老人福祉センター・名取地域センター・ひなたぼっこ石巻・ホームページからダウンロード）に備え付けの立候補届用紙に記入して宮城県高齢者生活協同組合事務局内に設置した総代選挙管理委員会に提出してください。

以上

宮城県高齢者生活協同組合本部事務局 仙台市泉区高森3丁目四番131号 電話022-343-7655

◎第28回通常総代会のご案内

日時：2026年6月21日（日）13時30分～16時

会場：東京エレクトロンホール 401会議室

仙台市青葉区国分町3-3-7 電話022（225）8641



地下鉄：仙台市営地下鉄南北線泉中央方面乗車

→ 勾当台公園駅下車

→ 出口「公園2」から徒歩300メートル

（所要時間約5分）

バス：仙台市営バス、JR仙台駅西口60番乗り場から、

定禅寺通り市役所前経由交通局大学病院行き乗車

→ 定禅寺通市役所前下車（所要時間約12分）

※公共交通機関を利用ください。